

**要望事項 (優先順位 3)**

土砂流出箇所の防災対策

**要 旨**

当該箇所は、過去に土石流が発生しているとともに、今後、大雨が降った際には、土石流が発生する可能性が極めて高い谷筋です。

当該箇所には砂防ダム（昭和47年 府農林部建設の表示有）が整備されていますが、すべて土砂や倒木で埋もれている状況です。さらに問題は谷筋の上流ですが、過去から多くの倒木が放置されたままであり、崩れやすい地質と相まって、大雨時には一気に土石流となり民家前を襲う危険な状態となっています。

早急に周辺の地質や倒木状況の調査を実施し、地権者への倒木除去や治山事業実施の指導を行うとともに、砂防ダムの修繕等、防災対策の実施を要望します。

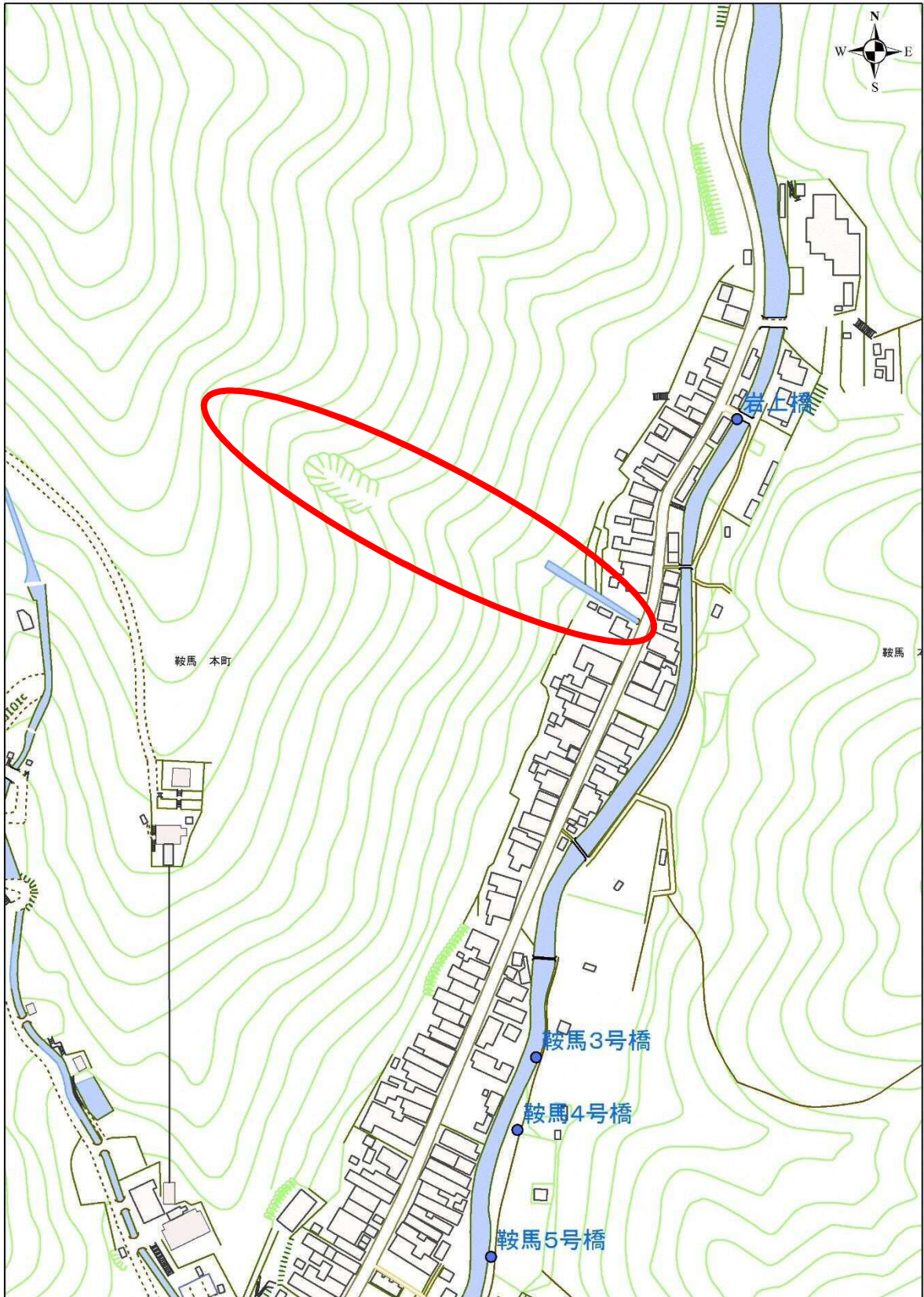
**回 答****(京都府京都林務事務所)**

当該箇所の治山ダムについては平成25年に施設点検調査を行った時点ではダムに異常は見られませんでした。上流の風倒木の状況につきましては周辺の風倒木被害地と併せて現在調査を実施しているところです。

治山ダムはダムに土砂を堆積させ、溪流の勾配に緩やかな部分を作ることによりその機能を発揮するものですので、埋もれている状態が正常に機能している状態となります。また、上流の治山ダム等の整備につきましては、ダムを整備いたしましても水の流量を抑制するものではありませんので、ご理解いただきますよう、よろしく願いいたします。

倒木等の森林管理につきましては、基本的に森林所有者が行うべきものではありませんが、流木の原因となる恐れのある危険木等の撤去につきましては、保安林内であれば「未来へつなぐ安心・安全の森づくり事業」等の京都府の補助制度（1団体100万円を上限として100%補助）もございますので、ご活用ください。

# 地図



特記事項:

1:2,500